

ご意見1

東御市の今後の発展のために、観光客を呼べる魅力あるまちづくりを。「海野宿」のPRや「土産物を考案」などしてみたらと思います。

回答

海野宿の観光について貴重なご意見ありがとうございます。

海野宿は年々観光客が増加の傾向にありますが、地域の皆さんの連携、道路整備など改善していかなければならない問題もあります。今後、観光客に喜んでいただける、おもてなしや魅力ある観光地を考えていきたいと思っています。（産業建設部商工観光課）

東御市の特産品（くるみ、ぶどう）を使った土産物を考案したらどうかというご提案ですが、くるみを使った土産物としては「くるみおはぎ」「くるみ大福」や「クッキー」など、また、ぶどうは「巨峰パン」「巨峰ジュース」「ジェラート」などが直売所等で販売されています。PR不足の感もありますので機会をとらえこれらの土産物を積極的にPRするとともに、新たな商品開発も進めていきたいと考えています。（産業建設部農政課）

海野宿の保存整備については、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されているため、国・県の補助金をいただいて、毎年数件～10件程の修理工事を実施しているところです。

しかし、海野宿及び個々の住宅は生活の場であり、それぞれの建物は個人の財産であるため、住民の意思を尊重しなければなりません。海野宿の皆さんは、選定前から各地を視察し、結果として木曾の「妻籠宿」や「馬籠宿」のような形成ではなく、自らの生活の場として大切にしていくことを選択されました。とはいえ、住民意識や社会情勢も変化しており、保存や整備のあり方について見直しを迫られていることも事実です。今後住民の皆さんと共に、10年後・20年後を見据えた保存整備計画の再検討を進め、住民・観光客共にすばらしさを共有・共感できる海野宿となるよう保存し、整備していきたいと思っています。（教育委員会教育課）

ご意見 2

東御市民病院の広報誌「ひまわり」があったことを知りませんでした。市民や他の医院等への配布などお願いできないでしょうか。

回答

広報誌「ひまわり」を全世帯へ配布をし、市民病院の状況などを市民に知っていただくようにとの有り難い提案をいただきましたが、市内にはほかにも医療機関が数多くありますので、市民病院だけ広報誌を使って広報することは、医療法で規制があり現時点では難しいと思います。

なお、地域連携をしている他病院へは広報誌を送付しています。(市民病院)

■ご意見 3

自然に親しむ場所として、千曲川に行って水に触れたり、散歩ができるように、散歩道や水遊び場をお願いできないでしょうか。

回答

千曲川は県が管理する一級河川です。川沿いにご提案の散歩道や川遊び場を整備することにより、市民が水にふれあい、河川に親しめるよい機会を提供できるものと考えます。しかし、河川環境の整備を行うためには親水場所の事業実施主体、整備後の維持管理者、費用はどのくらい見込まれ、財源はどうするのかなど解決する多くの課題があります。整備にあたりましてはこれらのことを踏まえて、事業実施の判断をしていきたいと考えています。(産業建設部建設課)

ご意見 4

児童手当を支給していただいておりますが、国民健康保険税には均等割り負担が含まれており、せつかくの児童手当の支援を受けてもあまり実感がありませんが、保険料を免除するなど支援の充実はできないでしょうか。

回答

国民健康保険制度は加入している被保険者が保険税を出し合って、医療費等を補助し成り立つ「助け合い制度」ですが、国民健康保険税のうち、被保険者均等割額は被保険者の多い世帯のほうが少ない世帯よりも受益が大きいので、多くの受益に見合う負担を行うのが合理的とする考え、いわゆる「応益原則」をとっているものです。制度についてご理解をお願いしたいと思います。(民生福祉部市民課)

児童手当制度は、児童を養育している方に手当をお支払いすることにより家庭における生活の安定に役立つとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に役立てることを目的に国の法律に定められ、各市町村で支給している制度です。

なお、東御市では子どもたちに対する福祉医療「児童医療費無料化」を進めたいと考えており、本年度小学校3年生までに対象年齢を引き上年度は6年生まで、平成22年度以降は毎年1学年ずつ対象を拡大し、年度までに中学3年生まで対象とする予定です。子育て世代に対する支援として進めていきたいと考えています。(民生福祉部福祉課)

ご意見 5

柵津地区に鞍掛工業団地を造成し、日信工業を誘致するという計画をお聞きしますが、どの辺りに造成するのでしょうか。

回答

鞍掛工業団地の場所は、浅間サンライン鞍掛交差点より小諸側「七輪亭様」までのサンライン北側で、地区は出場区になります。

計画につきましては、東西約360メートル、南北約180メートルの工場敷地を1面造成し、ほかに駐車場1カ所・洪水調整池1カ所・公園1カ所・外周道路約1キロメートルを施工します。工事面積は全体で約10万平方メートル(約3万坪)の予定となっています。

日信工業の工場建設計画は、第1期として60メートル×200メートルの工場を建設し、将来は145メートル×200メートルの工場建設が計画されています。(土地開発公社)